

# 目からウロコの製品活用術

## IBM ThinkPad X40

### 遂にパソコンが自分で自分を守るようになった！

皆さん、こんにちは！今回の目からウロコの製品活用術は、遂にパソコンが自分自身を守るようになった画期的なお話です。下記に質問に該当する方は、必ず読んでくださいね！

1. パソコンは、どこのメーカーでも同じだと思っている。
2. ノートパソコンを外出先で利用することがある。
3. パソコンが立ち上がらなくなったら冷や汗が出る。

さあ、それでは自分で自分を守るパソコンとは、どういうことなのかご説明いたします。パソコンの重要な部品のひとつに**ハードディスク**という部品があります。これは、**プログラムやデータが書き込まれる記憶装置**です。通常パソコンのカタログなどで20GBなどと書いてある**パソコンのデータが格納できる容量を表している部品**です。

この部品は、高速に回転していて、データの読み書きをしているので、「振動」と「衝撃」に弱いという繊細な一面を持っています。特に、データを読み書きしている最中の「振動」や「衝撃」は、ディスク面を物理的に傷つけてしまう恐れがあり非常に危険です。例えば、使用中のノートPCを持ち上げようとして手がすべり、青ざめた経験をお持ちの方も多いことでしょう。

そこで、今回ご紹介している IBM ThinkPadX40 ではノートブック PC の信頼性を高めるために、**業界初のテクノロジー「IBM ハードディスク・アクティブプロテクション・システム」**を搭載、「繊細」なハードディスクを保護しています。

どのように保護しているかという点、**センサーが振動や衝撃を感知してディスクの読み書きを一時中断し安全な状態にする**ということです。

#### 【もっと詳しく知りたい方へ】

それでは、IBM ハードディスク・アクティブプロテクション・システムをもう少し詳しくご説明いたします。ハードディスクの中では、プラッタ（ディスク）が高速で回転し、その上を非接触式の磁気ヘッドが移動することでデータを読み書きしています。不意の振動や衝撃によってディスク面と磁気ヘッドが接触してしまうと、ディスク面に破損が生じ、大切なデータが失われるばかりか、ハードディスクそのものが利用できなくなってしまう危険があるのです。

そこで「**IBM ハードディスク・アクティブプロテクション・システム**」では、センサーで衝撃の予兆を察知。ディスクのアクセス中でも、センサーが最初に G（加速度）を検知してから、わずか500ミリ秒で磁気ヘッドをディスク外の安全な領域へと退避させ、危険を抑えています。

【資料】IBM ホームページより



こちらへ今すぐご一報ください！ E-mail : kikuchi@icsjpn.co.jp Tel : 028-643-3377

\*この「あい通信」は、当社で販売している**富士ゼロックス製品の複合機**（コピー・FAX・プリンター）DC1250CPで印刷しています。